

鳴海治トレーナーの「愛犬のしつけ方教室」



先月は鳴海治トレーナーの「愛犬のしつけ方教室」に63頭の犬と大勢の飼い主さんにご参加いただきありがとうございました。当日のキャン

セルが2件、遅刻される方もほとんど無く、教室も時間どおりに開始できた事は、飼い主さんの関心の高さもさることながら、マナーの素晴らしさにも感服いたしました。

何故犬にしつけが必要なのか？鳴海先生の答えは明快で「犬の飼い主は、世の中には犬嫌いな人が大勢いる事を常に念頭において行動し、犬嫌いな人をこれ以上増やさないために飼育にはしつけが必要である」と云う事に尽きます。例えば排泄は、大も小も飼い主の敷地内で済ますべきで、やむを得ず敷地外で排泄させる状況になった場合でも、トイレシートの上で排泄させて持ち帰る。万が一、アスファルト上でオシッコをしてしまった場合には尿をシートで吸い取り、現場に消臭剤をかけ、シートを持ち帰る等の配慮が必要であると説いています。まして、他所の家の植え込みや玄関先で排泄させるなど云う事は論外です。

イヌが理由なく吠えることはないのですが、所謂「無駄吠え」で隣近所に迷惑をかけたリしないように、犬を吠えさせない様な環境作りが必要である事。

公園などで、リード無しで自由に遊び回る犬達を眺めることは、愛犬家にとっては楽しい光景でも、犬嫌いな人にとっては恐怖心に襲われとても耐えられない光景でしかない事。

結果的に「わんちゃん立入禁止」になった公園がなんと多いことが、飼い主のマナーが問われています。

しつけの基本とは、犬との信頼関係を築くことであり、信頼関係が築ければほとんどの問題行動を抑止することができます。ではどうすれば信頼関係が築けるのでしょうか？それは犬が飼い主に、安心して身を任せられるような関係を作ること、そのためには飼い主が犬のボディーコントロールを出来る必要があります。

今回のしつけ教室では、ボディーコントロールの仕方、犬との生活の中で起こりえるであろう様々な状況を設定し、楽しみながら実技指導を受けることができました。

特に印象に残ったのは、愛犬を叱るような場面を作らないようにすること、体罰などはもつての外、褒めることが大切で、ニコニコと笑顔を絶やさずに楽しむながらしつけをしましょうと云う事です。

今回の復習のために、そして参加したくても参加出来なかった方のために、鳴海先生がお書きになった「犬の本音がこんなにわかる！」本がボディーコントロールのテキストとして最適であると思いますのでお勧め致します。

尚、発行所は、「株芸文社 販売部」お問い合わせ先は03-5992-2051です。

最後になりますが、犬が使役動物ではなく家族の一員としての位置付けが高まっている現代社会では、愛犬との楽しいドッグライフを楽しむためには、飼い主のマナーの向上がなにより大切で、愛犬をしつけることも愛犬家のマナーの一部になっていると言えるのではないのでしょうか。

